Flair

Magazine of Teikyo Alternative Life

［フレア］

vol.120 MARCH 2021 SPRING

TAKE FREE

PRESENT

アンケートに
回答した方の中から抽選で
Amazonギフト券
5,000円分
プレゼント！

詳しくは裏表紙にて



MY FAVORITE THINGS!

みんなの好きなモノ。

#スミスキー #ボルダリング #漢方 #ロケット #鉄道模型
#臨床工学 #宇宙 #ビーチフラッグス #F1 #工作 #80'sアイドル #オカルト

TEIKYO

Cover Story No.10
Asuka Imamura
—
photo: Kenji Nakata
styling: Miyu Yasumi
hair&make: Narumi Tsukuba
text: Rie Ochi

変身裏話。



今回変身したのは



法学部法律学科2年
駒場学園高等学校（東京都）出身

今村明日香さん

文学少女に変身した感想は？

いつもとは違うファッションで新鮮でした。本や雑誌は普段からよく読みます。通学時間が長く、以前はスマホで動画を見ていたのですが、今は読書の時間に。特にミステリー小説に登場する事件やトリックにはまっています。

好きなモノは何ですか？

女性アイドルです。父親の影響で幼少時代からモーニング娘。の曲を聞いて育ち、今はLOVEというグループに夢中です。メンバーが頑張っている姿を見ると私ももっと頑張ろうと力をもらえるし、自分磨きのモチベーションが上がります。

大学生活で力を入れていることは？

キャンパスライフチューターとして大学をPRする活動をしています。オープンキャンパスでは高校生の前で学生生活についてのトークショーを行いました。緊張しましたが、人前で話す経験を通して成長できました。また、八王子キャンパス内をイルミネーションで飾る企画にもリーダーとして携わりました。多くの先輩や後輩に出会い、自分から積極的に行動できるようになったと感じます。

詳しい情報はコチラ!



今回の表紙撮影場所
BOOK AND BED TOKYO SHINJUKU

“泊まれる本屋”がコンセプトのホステル。ロビーのほか、客室と一体化した本棚には雑誌や小説、写真集、マンガなど幅広いジャンルの本2,500冊がぎっしり。本に囲まれ、自由に本を読みながら眠るという、本好きにとって至福の時間が過ごせる。

50th 帝京医学部 Teikyo University School of Medicine
図書館の進化系 MELIC
全員留学制度
自分流
帝京EKIDEN 成長の道を走り続ける
THE チーム医療
THE世界大学ランキング Times Higher Education 3年連続ランクイン
超現場先生
大規模災害訓練 全学年でトレーニング
人に寄り添う強さと優しさを ハートフルかんごし
ARE YOU HUNGRY? 八王子の100円朝食
心も体も強いぞ! 帝京お兄さんズ
植物と知恵が育つ 帝京大学 薬用植物園
ワクワクお薬教室
実践型薬局教室
エンジョイTEACHERS
奉の訪れ 石神井川の桜並木
人と社会を支える 医療プロフェッショナル

キャンパス for ライフ

— 生きる力を育ててく。—

やりたいことがある。やりたいことがない。
将来が楽しみだ。将来が不安だ。
得意なことがある。得意なことなんてない。
だいじょうぶ。だいじょうぶ。だいじょうぶ。
これまでみたいに学びたい。
これまでとは違う学び方をしよう。
社会に出てから役に立つことを大学は教えろ。
役に立つことばかりが学びではない。
いろんな考え方があって、いろんな自分流があって、
集まってぐちゃっとなって、本当の実学になっていく。
だから、だいじょうぶ。みんなで、だいじょうぶにしていく。
芽が出るのは1年後かもしれないし、
5年後、10年後かもしれない。それでいい。
これからの時代、大切なのは本物の実力。本物の仲間。
いつだって、どこにいたって、学ぶ人が集まり、繋がれば、
そこが私たちのキャンパスになる。
土地に根ざした、テクノロジーで繋がった、
新しいカタチのキャンパスで、これからの、生きる力を育ててく。

帝京大学 TEIKYO Teikyo University
学食名物 からあげ 年間21t消費!!!
ひとりひとり全員にキャリア面談
すくすく育て! ほいくじょしゅうしつ
安心 安全 ていきょう隊
熱い!熱い!熱い!!!応援 RED PROJECT

この時代を生き抜く力

帝京大学 学長　冲永佳史

２０２０年1月に中国は武漢で新型コロナウイルスの出現と感染拡大が報告されてから、はや1年が経過しました。この1年は、まさに新型コロナウイルスに翻弄された年となりましたが、この出来事で世の中は大きく様変わりしました。

新型コロナウイルスの発生当初は詳細な素性が分からず、ＳＡＲＳやＭＥＲＳといった感染症と比較して死亡率が低いとはいえ、高齢者や慢性疾患を抱えている方、あるいは医療体制が整っていない場所では命にかかわる危険性が高く、感染力が強いうえに症状が出ない人が大半で顕在化しないうちに広がって世界中を巻き込むパニックへと陥れることになります。

日本においては現在に至るまで、医療が逼迫しない程度に緩やかな感染拡大を半ば許しながら、そして経済活動の極端な停滞を避けながらやり過ごしてきたわけですが、冬の季節的要因と経済活性化政策とが相まって、２０２０年の年末にかけて新規感染者数が徐々に上昇しはじめ、年明け２０２１年1月半ばには、東京で1日当たり２０００名を超えるまでになりました。人々の間で警戒感が強まる中、1月7日から2度目となる緊急事態宣言の発令、そして度重なる発令期間の延長によって何とか増加を止めることができましたが、一時期は医療崩壊の一歩手前まで迫る危機的状況であったと言えます。

今回のパンデミックでは、先進諸国であっても大半の国は相当な感染者数を出し、ロックダウンを行っても収束は困難を極めているケースもあります。グローバルなレベルにおいて、今までとは大きく異なった状況で生活することを余儀なくされておりますが、マスクや手洗い、そして物理的距離を置くということが一般的となりましたし、積極的な移動や大規模な集会は実施不能となりました。まして海外との交流は物理的にはほぼ停止した状態です。

これらの活動制限で、「移動」や「集まる」という人の行動形態が関わる産業の多くが影響を被ることになり、そこで生じた経済的混乱や生活形態の変化によって生じる社会的ストレスは、さまざまな形で政治的なかじ取りの難しさを醸し出したことはもとより、貧困問題やイデオロギーの対立をはじめ、社会に存在していた諸問題を浮き彫りにしたと言えます。資本主義におけるある種のほころびや国同士による対立も、グローバル社会の進展がもたらした副作用の一つとして内在していたものが表面に現れてきました。

現在、米国や英国を中心にワクチン開発が相当なスピードで行われた結果として、日本においても接種の準備が進められ、2月17日の接種開始を皮切りに、重症化リスクの高い方々から順次接種を行うよう予定されていることは明るい材料ではありますが、十分に安心感が持てる状況になるまでには相応の時間がかかるでしょうし、グローバルなレベルではもっと先のことになると思われます。

こうした状況下では、仕事の進め方、あり方が変化し、情報技術とその社会実装が必然的に加速化され、産業構造や人々の暮らしは少なからぬ変化を求められていることは間違いありません。そうした中、大学を卒業して新たに社会人になる、あるいはこれから大学での学びを始める人たちは、将来的にその変化へ柔軟に対応していく必要がありますが、むしろ積極的にそれを受け止め、新しい発想を盛り込み、変化を起こし、新しいものを創造してゆく役目を担っていると捉えるべきでありましょう。

社会が抱えている問題はいずれ払拭しなければならないときがやってきます。今回のパンデミックはその出現を早めただけであり、遅かれ早かれ人々が解決しなければならないものであるのならば、すぐに行動を起こしさえすれば良いのです。新型コロナウイルスと共存してゆかなければならない状況がしばらく続く中では、いや応なしにそれらに直面することになるでしょう。そしてそれらは協働しなければ解決できないものばかりです。

この苦境の中では、攻撃的なものからフェイクまで、さまざまな言葉がＳＮＳの中を含めて飛び交うことになるでしょうが、決して短絡的に物事を考えるのではなく、正しい情報を探索してお互いにできることを熟慮し、そして学び、行動を適切に起こすことに心を配るべきです。このことは将来的な持続可能社会を創造する上で必要な知見と文化形態を醸成するためにも大いに必要な態度であるとも言えます。

また、コロナ禍だからと暗くなるのではなく、この環境の中で熟慮し、次のステップへ着実に駒を進める知力と胆力と行動力を養う時間を稼げたのだと認識して自分なりの未来を描く良い機会として活用すべきです。１００年に一度といわれる混乱を経験する人間は稀です。そのような意味で、この時代に生きる人々にとって未来はこれ以上悪くなるのではなく、良いものに創り上げてゆく力に自分自身がなれるのだという前向きな意識を持って素直にそれを表現することが重要なのではないかと改めて思うのです。



illustration: Takeshi Tomoda

変化を積極的に受け止め、新しい発想を盛り込み、新たに創造してゆく役目を担っている

WHAT'S “先端総研”??

帝京の研究力を集約させる「先端総合研究機構」とは?

帝京大学の力を結集し、さまざまな社会的課題の解決をめざす「先端総合研究機構」が2021年4月に誕生する。ついに動き出す通称「先端総研」を、3つのキーワードでひもとく。



板橋キャンパスに隣接する「先端総合研究機構棟」。2021年3月竣工。

KEYWORD: 01 帝京が誇るONE TEAM

先端総研における「ONE TEAM」の特徴となるのが、文理融合型の学術的研究体制だ。

世の中にはさまざまな社会的課題が山積みとなっている。例えば都会のゴミ処理による海洋環境被害や、持続可能な住みやすいまちづくりなど、問題が複雑で答えがひとつではない課題の解決が求められている。近年よく耳にするSDGs（持続可能な開発目標）こそ、そういった社会的課題に対して明確な目標を定めた内容となっている。

このような課題解決は関係する専門領域の人のみが必要とされていると感じる人もいるかもしれない。しかし、課題解決のための技術を提案するのが理系の得意分野だとすれば、社会にどのように受け入れられるかの知識を提供することこそ、文系の得意分野と言えるだろう。

だからこそ、「さまざまな社会的課題へのアプローチ」を掲げる先端総研では、理系や文系といった学問領域を越えた協働を重要視している。特に、人文・社会系、自然科学系の広範な10学部11研究科を擁する帝京大学ならではの総合力を活かすことができる。

これからの社会を支えるために、身に付けるべき「力」を考えてみよう。

例えば、規格製品の量産などで日本企業が無類の強さを発揮していた1970〜80年代であれば、一括採用、年功序列、終身雇用に象徴される日本型の雇用慣行の枠からはみ出さずに活躍できる勤勉さが重要視された。しかし、IT化やグローバル化の傾向が顕著となる1990年代以降、量産を支えてきた定型業務が次々と機械に取って代わられ、一時代の繁栄の源泉であった日本型組織の強みは薄れていった。さらに大きな変化の波が押し寄せる今、これまでのように、一旦習得した技術・技能やそれを証明する資格を半永久的に活用することが叶わなくなるかもしれない。勤勉さを身に付けながらも、さらに急速な社会の変化に適応できる力、問題の発見・解決に取り組める力が必須となるだろう。そのためには、偏見を持たずに「他者との協働に積極的に取り組める力」こそが重要だと考えられる。

それは「ONE TEAM」という言葉に置き換えることもできるかもしれない。2019年の新語・流行語大賞に選ばれた「ONE TEAM」は、帝京大学が誇る得意技といえるだろう。ラグビーや駅伝、チアリーディングなどのスポーツはもちろんのこと、帝京大学の医療チームも地域社会の安全・安心のために「チーム力」を存分に発揮している。

そして帝京大学が新たに開設する先端総研では、学生や教職員、学問分野や専門領域という従来の区分けを越えて他大学や企業との連携・協働を図る、まさに「ONE TEAM」を発揮する場として誕生する。

KEYWORD: 02 文理融合型の学術的研究体制。

世の中にはさまざまな社会的課題が山積みとなっている。例えば都会のゴミ処理による海洋環境被害や、持続可能な住みやすいまちづくりなど、問題が複雑で答えがひとつではない課題の解決が求められている。近年よく耳にするSDGs（持続可能な開発目標）こそ、そういった社会的課題に対して明確な目標を定めた内容となっている。

このような課題解決は関係する専門領域の人のみが必要とされていると感じる人もいるかもしれない。しかし、課題解決のための技術を提案するのが理系の得意分野だとすれば、社会にどのように受け入れられるかの知識を提供することこそ、文系の得意分野と言えるだろう。

だからこそ、「さまざまな社会的課題へのアプローチ」を掲げる先端総研では、理系や文系といった学問領域を越えた協働を重要視している。特に、人文・社会系、自然科学系の広範な10学部11研究科を擁する帝京大学ならではの総合力を活かすことができる。

KEYWORD: 03 風通しのいいオープンラボ仕様。

研究は帝京大学の各キャンパスを拠点として展開されるが、「先端総合研究機構棟」はさまざまな連携研究における「実践の場」としてはもちろん、産業界との共同研究やオープンイノベーションの場として協働を加速させる役割を担う全学的な中核研究組織だ。

先端総研における研究の中心は文理融合型の連携研究であり、学問分野が限定されていないからこそ、「先端総合研究機構棟」はさまざまな研究ニーズに柔軟に対応できるようオープンラボ仕様を基本とした設計となっている。一般的な研究施設は各研究の内容に応じた個室に必要な実験機器や資料などを揃えた形式だが、異なる分野の研究者との交流が閉ざされていることが多い。しかしオープンラボ仕様では、研究室の壁や仕切りをできるだけなくして一つの大きな部屋の中に複数の研究者が滞在できる仕組みを取っている。これによって異なる分野の研究者同士による交流が自然と生まれ、意見交換によって新しい視点からのアイデアが浮かぶことなどが期待される。

今後、「先端総合研究機構棟」の内部やさまざまな取り組みについても紹介していく予定だ。



MY FAVORITE THINGS! (01)

スミスキー
SMISKI

齋藤知優さん
写真部
外国語学部外国語学科英語コース2年

ゆるい表情に癒やされる撮影の相棒

スミスキーという、隅っこが好きな妖精のフィギュアを収集。いろんなポーズがあり、シンプルな顔もかわいいので、ゆるい雰囲気に癒されています。風景写真の撮影が趣味なのですが、1人で撮影するときにはスミスキーと一緒に。風景に溶け込ませるために低い視点から撮るので、普段の自分の視点とは違った見え方が楽しめるのも面白いです。





上／スミスキーを苔の上に寝転ばせたり、ケーキの前に置いて撮影。「写真を見た人が妖精って自分の周りにもいるのかもと思ってもらえるように撮っています」と齋藤さん。右ページ中央／部屋には約100体のスミスキーが。蓄光素材でできており夜になるとあちこちで光りだす。



MY FAVORITE THINGS! (03)

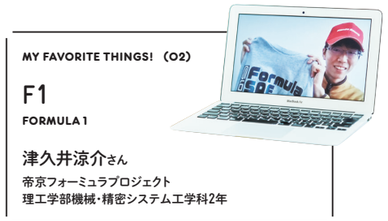
古いもの
VINTAGE GOODS

茂木恵太さん
総合芸術研究部
医学部医学科4年

古い文化から新しいセンスを見出す

レコード、雑誌、写真、絵葉書、切手など、古いものを集めています。古臭いと感じる人もいるかもしれませんが、センスが新鮮に感じられるものもあり、探す楽しみがあります。『少女世界』『少女画報』といった明治・大正時代の雑誌は良い絵が多くて見応えがあります。漫画家にも影響を与えた有名画家・高畠華宵の挿絵がすごく綺麗なので集めて眺めています。

上／古本屋やオークションなどで収集。レコードは1,000枚近くを所有。



MY FAVORITE THINGS! (02)

F1
FORMULA 1

津久井涼介さん
帝京フォーミュラプロジェクト
理工学部機械・精密システム工学科2年

レースの迫力とマシン開発競争に夢中

子どものころに両親に連れられて見に行ったスーパーGTの影響でモータースポーツに興味を持ち、最近はF1をよく見ています。世界でもトップレベルの運転技術を持つ選手たちがギリギリの戦いをしているところが魅力で、各メーカーのマシン開発競争も見どころ。日本でレース経験を積み、ホンダと関わりの深いピエール・ガスリー選手を応援しています。

A. アルファタウリ・ホンダ所属のピエール・ガスリー選手。B. 小学生のころに集めていたスーパーGTのミニカー。実家に飾っている。C. ホンダのロゴ入り帽子は学生フォーミュラの大会でもらった思い出の品。





BOARD GAME

SPECIAL FEATURE

MY FAVORITE THINGS!



BOULDERING

ROCKET

特集 みんなの好きなモノ。



SMISKI

VINTAGE GOODS



CRAFT



好きなモノがあるからこそ前向きな気持ちになれたり、
癒されて毎日を頑張れる。好きを全力で突き詰めた先には、
将来の道筋が見えることも。学生のみなさんが
いま、夢中になっているものについて教えてもらいました。

text: Rie Ochi, Satoko Nakano, Naomi Haga
photo: Mizuho Takamura, Sho Ueda

MODEL TRAIN



マニアなあの人を訪ねてみた。

Q マリーさん、あなたは何マニアですか？



「80'sアイドル」
マニアです!

“アイドルとの出会いが私を前向きにしてくれた”

懐 かしのソバージュヘアにビビッドピンクのリップがお似合いのマリーさん。80年代アイドルをこよなく愛する、平成生まれの女性です。

「中学生ぐらいのときに、テレビで昭和アイドルの名場面集を見たのがきっかけです。きれいなドレスにヒールを履いて歌っている姿がすごく新鮮で、キラキラして見えました」

あこがれが高じて、自分でもアイドル風のファッションやメイクをするようになったのは5年くらい前から。いざ挑戦してみると「意外としっくりきて、自分でも似合うなって思いました」とはにかみます。それからは〝自分は80年代アイドルだ〟と思って過ごすようになり、歩くときも姿勢を気にするなど、常にアイドルらしく振る舞うようになったのだとか。ネガティブで人見知りだった性格も、明るく社交的になったといいます。

「『どうしてそんな恰好をしてるんですか？』って聞かれることもあるけど、私は自分が好きな服を着て好きなメイクをして生活しているだけなんです。友人からは『前よりも明るくなった、いまのほうが楽しそう』と言われます。好きなことを続けていれば、自然と表情も明るくなるのかも…なんてね♪」

PROFILE マリー

80年代アイドルを愛する“永遠の17歳”。ライブ、イベント、SNSなどを通して古き良き80年代カルチャーを啓蒙している。テレビ、雑誌、WEBなどメディア出演も多数。





A. 大好きなゆうゆ（岩井由紀子）、光GENJI…当時の雑誌やブロマイドは宝物。B. 80年代風ファッションは「古着屋さんやプチプラのお店で揃えています」とのこと。



A. 女子サッカー同好会は東京都リーグ4部に所属。3部昇格をめざして練習に励んでいる。
B. GKながら相手コートまでフリーキックを蹴りに行く諸星さん。PKで点を取ったことも。
C. 女子サッカーが題材の『さよなら私のクラマー』（新川直司著 講談社）も好きな作品。

MY FAVORITE THINGS! (04)

サッカー漫画
SOCCER COMICS

諸星花恋さん
女子サッカー同好会
教育学部教育文化学科2年

主人公の成長が励みになる

小学生のころからサッカーを続けていて、サッカー漫画も大好きです。主人公がゴールキーパーの『蒼のアインツ』（中村尚儁著 講談社）は、自分と同じポジションなので、苦労を自分に置き換えて共感したり、主人公の考え方を参考にしてみたり。エピソードごとに主役が替わる『1/11』（中村尚儁著 講談社）も一人ひとりに感情移入できて面白い。試合前日に読むことをルーティーンにしています。



C



足を運んでわかる選手の熱量

MY FAVORITE THINGS! (06)

スポーツ観戦
WATCHING SPORTS

太田和樹さん
帝京スポーツ新聞部
文学部社会学科3年

大学進学で上京したことをきっかけに、プロ野球や大学ラグビーなどのスポーツ観戦にハマりました。初めて神宮球場の観客席からグラウンドを見た瞬間は、球場に足を運ばないと見られない景色があると感じて感動しました。特に好きなのは大学ラグビーで、4年間という限られた時間の中で発揮する選手の底力や熱の入ったプレーが魅力です。

上／週1回のペースで帝京スポーツ新聞部の取材へ。カメラを携え自ら撮影を行う。



MY FAVORITE THINGS! (05)

漢方
CHINESE MEDICINE

武田匡泰さん
東洋医学研究会
医学部医学科3年

医師をめざして勉強する中で、直接的に病気を治療する西洋医学とは異なり、人間が本来持っている治癒力を引き出す東洋医学や漢方に興味を持ちました。どんな効能なのか知識を得るのが楽しく、実際に触れて香りを感じたり、五感で学べるのも面白い。将来、医師として診療するときに漢方の知識があれば臨床の幅も広がると思うので、もっと学んで自分の武器にしたいです。

お気に入りの漢方は人参湯。名前から興味を持って、調べることが多いそう。

学んだ知識を将来の武器に！




A


B

MY FAVORITE THINGS! (09)

ボルダリング
BOULDERING



露木拓実さん
ワンダーフォーゲル同好会
医療技術学部スポーツ医療学科健康スポーツコース3年

登ったときの達成感が最高！

ボルダリングにハマり、週に2〜3回はジムに通っています。リーチが長い人は手を伸ばしたり、力のある人はジャンプしたり、人によっていろんな登り方があるのが面白く、達成感があります。ボルダリングは課題の難易度を示すグレードがあって、いまは2級。もっと上達して1級に進みたいし、ロープを使った外での岩登りにも挑戦したいです。


C

A. アルバイト先の登山用品店の人に誘われて夢中に。ジムでは3時間ほど練習。**B.** 初めて購入したスポルティーバの初心者用シューズ。デザインが気に入っている。**C.** 同好会の仲間と登山。南アルプスを縦走したことも。

MY FAVORITE THINGS! (08)

ビーチフラッグス
BEACH FLAGS



永島歩人さん
水泳部 ライフセービングチーム
医療技術学部スポーツ医療学科救急救命士コース3年

手に汗握るスピード感が楽しくてたまらない

救急救命士をめざすにあたり、大学で医療知識を身につけながら海で人命救助に携われるのは良い経験だと思ってライフセービングを始めました。夏は西伊豆でライフガードをしながら、早朝や夕方に競技の練習をしています。私の専門はビーチフラッグスで、瞬発力や足の速さ、どのフラッグを狙うかの判断力などが試されるところに純粋な楽しさを感じます。



ビーチフラッグスは、浜でうつ伏せになり笛の合図とともにダッシュして20m先に埋まっているフラッグを掴んだ人が勝ち抜けできる。永島さんの最高順位は全国8位だ。


A

MY FAVORITE THINGS! (10)

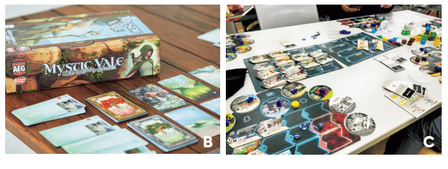
TRPGとボードゲーム
TRPG & BOARD GAME



松本健吾さん
シミュレーションゲーム研究会
文学部史学科2年

みんなで物語を作り上げていく

ボードゲームやTRPGに夢中です。TRPGはキャラクターを演じながらシナリオを進め、物語を作り上げていくゲーム。自分でシナリオを作ることもできるので自由度が高く、毎回変化があって楽しい。普通のゲームだと攻略することが一番の目的になりますが、みんなで楽しむことに重きが置かれているように感じます。オンラインでもできるので、地方に住む友人とも遊べます。


B

C

A. TRPGのルールブックやボードゲームを合わせて20個以上持っている。**B.** ボードゲームの中ではカードを強化して遊ぶ「ミスティック・ベール」がお気に入り。**C.** シミュレーションゲーム研究会では200種類ほどのゲームを楽しめる。

見る度に発見がある未知の世界

小学生のときに読んだ漫画『宇宙兄弟』に感化され、星を見たり、天体写真を撮ったり、宇宙に関する本を集めるようになりました。お気に入りの本は、写真が綺麗な『世界でいちばん素敵な宇宙の教室』。星を眺めていると感動する一方で、未知の部分も多いのが面白い。将来は宇宙開発や人工衛星ロケットの設計などに携わるのが目標です！

MY FAVORITE THINGS! (07)

宇宙
SPACE



浅井龍真さん
天文部
理工学部航空宇宙工学科航空宇宙工学コース2年



本棚には宇宙関連の本が数十冊。
『大宇宙MAP』もお気に入りの一冊。

マニアなあの人を訪ねてみた。

Q 山口敏太郎さん、あなたは何マニアですか？



「オカルト」マニアです!

“調べるほど関心が深まるオカルトの世界”

オカルト研究のカリスマとして知られる山口敏太郎さんのルーツは、出身地である徳島県にあるといいます。

「タヌキが化かした、『おんぶして』と叫ぶ石がある、死者が赤飯を持って訪ねてきた…地元にはそんな言い伝えがいくらでもあった。子どものころからそういう環境で育ったので、不思議なものは昔から大好きです」

1996年に作家デビューし、著書やメディアで日本の妖怪や海外のUMAを何千種も紹介してきたいまもなお、新しい研究を続けています。

「資料を読み込んでみると、この妖怪は新種なのか、それともほかの地方の妖怪の亜種なのか…悩みはじめたらキリがない。いつまでも興味が尽きることはないですね」

勤めていた会社を辞め、夢だった作家の道に転身した経歴を持つ敏太郎さんは、〝好き〟を大事にする学生のみなさんにエールを送ります。

「もし好きなことを仕事にしたいなら、それをどうマネタイズするか考えることも大切だし、物事を俯瞰して見る力も必要です。学生さんには、どの道に進んでも『いつか好きなことを仕事にするぞ』という野心を持ち続けてほしい。好きなことをして生きていくのは、最高ですよ」

PROFILE 山口敏太郎

作家、漫画原作者、(株)山口敏太郎タートルカンパニー代表。妖怪、都市伝説、UMA(未確認動物)などオカルト全般を研究。雑誌連載、著書多数。Youtube公式チャンネルで「ATLASラジオ」を配信中。





A. 壁に飾られている大量の絵馬。隣には水木しげる先生の直筆イラストも。B. 江戸期に作られたという「インフルエンザの魔除けのお面」は質屋で購入。



MY FAVORITE THINGS! (12)
工作
CRAFT
井ノ上楽さん
作業的サークル
福岡医療技術学部作業療法学科4年

手先を使えばなんだってできる!

作業療法学科の学生が中心となり“作業的な能力を高める”活動をしています。大牟田市のイベント「大牟田二十日えびす」では、子どもが遊べるダンボールハウスを作るのが恒例でしたが、2019年は高級車の「ランボルギーニ」をダンボールで作りました。手先というツールを使えば、自分の世界が表現できます。知識や経験が増えれば、作品にも反映されるところが面白いですね。

上／ここまで大きな作品づくりは初めての経験。子どもたちも大喜びしていたそう。



MY FAVORITE THINGS! (11)
ロケット
ROCKET
青木位織さん
宇宙システム研究会
理工学部航空宇宙工学科航空宇宙工学コース3年

予想通りにいかないロケット作りに夢中

宇宙システム研究会では人工衛星のほか、ロケットの開発も行っています。私が夢中になったのは、紙やプラスチックなど金属以外の素材で躯体を作り、固形燃料を使って飛ばすモデルロケット。事前に計算式を用いて打ち上げ予測をするのですが、数ミリの誤差で挙動が変わったり打ち上がらなくなったりするので「どうすればうまくいくかな?」と試行錯誤しながら作り上げていく過程も楽しいです。

上／全国大会では、高度やパラシュート滞空時間など、さまざまな競技がある。



MY FAVORITE THINGS! (14)
鉄道模型
MODEL TRAIN
金子泰山さん
鉄道研究部
法学部法律学科3年

自分だけの車両が作れる!

高校時代の電車通学をきっかけに鉄道に興味を持ち、発車メロディを研究したり、鉄道模型を収集。Nゲージという鉄道模型を100両ほど持っていますが、魅力は作りが精巧でリアリティがあるところです。行き先表示を貼ったり、室内灯を入れて光るようにしたり、自分で加工してオリジナルの車両を作れるところも面白い。次はどの車型が模型化されるのか発売情報を見て一喜一憂しています。

上／鉄道好きになったきっかけのE217系のNゲージ。



MY FAVORITE THINGS! (13)
臨床工学
CLINICAL ENGINEERING
福田琴乃さん
臨床工学サークル
福岡医療技術学部医療技術学科臨床工学コース4年

先輩たちの努力が詰まったテキスト

第2種ME技術実力検定試験の対策をしている臨床工学サークルでは、検定試験や国家試験のテキストが先輩から代々受け継がれているんです。正解率の低い問題に手書きで解説が付け加えられていたり、よく出る問題にチェックがしてあったりして勉強しやすいです。特に装置の回路などの図が描かれているのが助かります。もちろん、私も書き込みました。これも後輩に譲ります。

上／代々受け継がれているテキスト。欲しい人は早めに手を挙げよう。

TEIKYO UNIVERSITY CAREER SUPPORT

卒業生と先輩社員が
教えてくれた、

就活のホント。

パナソニック株式会社

大手電機メーカー「パナソニック」。
帝京大学経済学部経済学科卒業生の二宮恵司さんと、
先輩社員の木村正憲さんに会社や仕事の魅力について伺いました。



広報担当として、自社の情報を社外へ発信する。

Q1 「パナソニック」のいいところってどんなところ？

尊敬できる先生のような人が多い。

優しく、ときには厳しく導いてくれる穏やかで先生のような社員が多いところです。人を育てることに重きを置いている会社ですので、「人の話を聞く姿勢」が広く浸透しています。人生経験豊富な先輩方の話は非常に勉強になりますし、私にとっては大学や大学院のさらに上にある学校のような多くのことを学べる場所です。

経営理念が浸透し、社員が同じ方向を向いている。

創業者である松下幸之助が伝えてきた経営理念が社員にしっかりと浸透しているところです。「どう社会の役に立てるか」を社員全員が常に考え、実践していると感じます。全員のベクトルが合っているからこそ、幅広い領域の事業を行っても円滑な意思疎通ができ、協力し合える環境が醸成されているのだと思います。

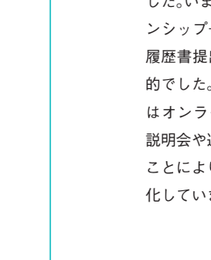
Q2 「パナソニック」で活躍している人はどんな人？

お客様の話に耳を傾けて本当に必要なものを見極められる人。

お客様の話にしっかりと耳を傾けられる人が活躍していると思います。弊社の製品には非常に高価なものもありますので、自分の都合を押し付けるような提案では信頼を得ることはできません。お客様の話から本当に必要としているものを見極めた上で提案・アフターフォローを行うことが大切だと思います。

情報発信だけではなく「広聴」としての機能も重要。

広報の仕事は情報を発信するだけではなく、「広聴」としての機能も重要です。弊社の情報を報道するメディアの方にどう見られているのか、消費者の皆さまは弊社に何を求めているのか。そうした社外の声から得た気付きを経営に活かしていく。「聴く力」は非常に大切だと思いますし、活躍している人が備えている素養だと感じます。



Q3 就職活動で後悔しないためには？

会社のホームページやプレスリリースを読み込む。

気になる会社があったら、まずはホームページやこれまでのプレスリリースをしっかり読んでみるのがおすすめです。自分が情報を発信する立場だからこそ強く感じるのですが、ホームページやプレスリリースは会社の理念や特色、世間に伝えたいことが凝縮された内容になっているので、企業研究を行う上で非常に役立つと思いますよ。

よく知らない分野も含めて幅広い業界・企業研究が大切。

関心の薄い分野やよく知らない分野も含めて幅広く業界・企業研究をしてみるのが良いと思います。たくさんの人や情報に接することで、自分が持っているイメージとの違いに気が付くなど新たな発見もあるはずです。また、難しいかもしれませんが10年後など将来のことも含めて考えてみて欲しいですね。



卒業生のインタビュー動画［TEIKYO PEOPLE］を
帝京大学公式YouTubeチャンネルにてご覧いただけます。
アクセスはこちら

「就職活動も様変わり、いま何をすべきか」

この１年で、生活様式だけではなく就職活動のスタイルも大きく変化しました。いままでの就職活動は「インターンシップ→企業説明会→エントリー・履歴書提出→面接」という流れが一般的でした。しかしいま、これらの多くはオンラインが主流となっています。説明会や選考がオンラインに変化したことにより、就職活動のポイントも変化しています。重要なのは変化への「対応力」と「情報収集力」です。いま何をすべきか悩む方も多いと思いますが、そのためにキャリアサポートセンターはあります。私達は就職活動に関する最新の情報を持っていますし、些細なことでも大丈夫なのでまずは相談に来てください。
また、大学が主催する就活支援イベントには積極的に参加してほしいですね。民間の就職情報サイト主催の合同企業説明会などは、全国の大学生が対象です。一方、大学主催のイベントは「帝京大学の学生」を採用したい企業しか参加しません。特に３月のイベントは企業の人事担当者と接点を持つチャンスなので、ぜひ活用してほしいと思います。



八王子キャンパス
キャリアサポートセンター
河井 祐子さん

TEIKYO CAREER SUPPORT

VOL.06

WORKSHOP
学生たちが
やってみました。
VOL.38

書道部員が
体験した

美しき西洋の書、カリグラフィーの世界。

Modern Calligraphy



文字を美しく見せる技法である、"西洋の書"カリグラフィー。
普段は日本の書を探求している書道部の学生たちが、
カリグラフィーの中でも書き手の個性を文字に表現できる
モダンカリグラフィーに挑戦しました!

photo: Mizuho Takamura text: Rie Ochi

自分らしさを文字の中で自由に表現する

西洋の書といわれるカリグラフィーは古くから親しまれてきた文字を美しく書く技法。今回、ワークショップで体験するモダンカリグラフィーとは、従来のカリグラフィーをベースに近年登場して注目を集めているスタイルだ。

「文字の形や傾斜などが均一で、整った美しさを追求するカリグラフィーに比べて、モダンカリグラフィーは自由でアート性が高く、正解の形はありません。自分の個性を表現できるところが魅力です」と語る講師のカリグラファー島野真希さん。

TEACHER 教えてくれた人



島野真希さん

幼い頃から書道を始め、ウェディングプランナーを経て書道家として活動。モダンカリグラフィーも独学で習得し、日本のモダンカリグラフィーの第一人者として活躍している。

MEMBER 参加した書道部員のみなさん



(左から)下山さん、石川さん、佐藤さん、井口さん

vol.6
作田研究室
理工学部 バイオサイエンス学科

ぼくらのゼミ活動。

微生物の働きを分析し、
医療や農業など人々の
暮らしへの応用をめざす、
作田研究室をたずねました。



何度も研究を重ねて
データを集めることが
非常に大切。

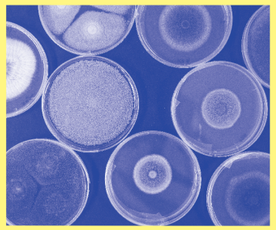
食料問題で
困っている人を
助ける研究をしたい。

＼ 世界の食料問題を解決する研究を!! ／

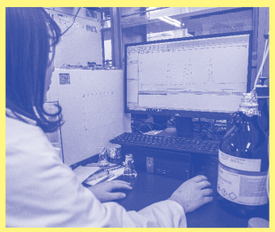
作田 自然界に存在するさまざまな生理活性物質を研究する、生物有機化学が専門分野です。カビなどの微生物を取り出し、どんな物質なのか、どのように作用するのか分析をするのが基本。その作用を医療や農業などに応用して、例えばカビの繁殖を原因とする農作物の廃棄など、食料問題の解決にも役立つ研究に取り組んでいます。

桐生 高校生のときから世界や日本の食料問題に関心がありました。作田研究室を選んだのは、それらの課題解決につながる研究ができそうだと思ったからです。研究では農作物からカビを採取して分析しますが、同じ条件で採取してもそのときどきで全く違う結果が出てくるのは興味深いなと思います。

作田 カビも農作物も生き物ですからね。統計的なデータを取ることで初めて論文として出せるようになるので、何度も同じ研究を重ねるのは重要なことです。その点でいうと、桐生さんはよく頑張っている。研究室に入りたてのころと比べて、立派に論文にできるようなデータが取れるようになりました。



とうもろこしや落花生などの農作物からカビを採取。見た目だけでもさまざまな違いがある。



研究は2人1組でチームを組んで行う。カビの採取、データ入力などの作業を分担しながら進めている。

桐生 思った通りの結果が出ないと「また全部やり直しか」とがっかりすることもありますが、他のゼミ生とも協力して取り組んでいます。今は卒論の制作に向けた実験が追い込みの時期。良いデータが得られればいいなと思います。

作田 世に発表できるような論文を書いて卒業してほしいですね。いずれ自分がいなくなっても、論文は形になってずっと残ります。

桐生 先輩方の卒論も参考にして頑張ります。研究室で学んだことを活かし、将来は困っている人を助けられるような研究開発をしたいです。

理工学部 バイオサイエンス学科
作田庄平 教授

生物有機化学、環境天然物科学が専門。特に食品のカビ毒(マイコトキシン)に関する研究に注力し、日本マイコトキシン学会の会長も務める。2018年より現職。

桐生姫華さん／理工学部 バイオサイエンス学科4年。高校生のころから食品分野について学ぶ。製薬会社へ内定しており、卒業後は研究開発に携わる予定。

photo: Kenji Nakata text: Naomi Haga

Challenge

まずは線を書く練習

線を繰り返し書いて鍛錬を重ねる



文字を書く前に、ストロークと呼ばれるペン運びを練習。



ペンホルダーにニブと呼ばれるペン先を装着。



ペンの使い方に慣れてくると、筆圧も加減できるように。



島野さんが文字を書いてデモンストレーション。ペンの動かし方をじっくりと観察。

次はアルファベットを書いてみよう



「傾斜や筆圧を揃えると素敵に見えますよ。弾むように書くのもモダンカリグラフィーの表現のひとつ」とインストラクターの藤井さん。



お手本を見ながら、アルファベットの大文字、小文字を練習。

こんな道具を使います!







ペンホルダーに金属製のニブと呼ばれるペン先を装着してインクに浸し書いていく。まずは目安となる傾斜ラインが引かれたガイドシートを使って練習!



アルファベットが書けるようになったら、文字をつないで単語に。



フレーズになると、全体のバランスも重要になってくる。

書道部

文学部日本文化学科の福井淳哉准教授の指導のもと、初心者から経験者まで、各部員が日々切磋琢磨しながら作品制作に励んでいる。書道パフォーマンスにも力を入れており、各地のイベントにも参加。書道展では数多くの賞を受賞するなど、意欲的に活動中。

書道部の部員4名が筆をペンに持ち替えてモダンカリグラフィーに初挑戦。

まずは道具の使い方に慣れながら、ストロークと呼ばれるペン運びを習得すべく、太い直線や細い曲線、楕円の線を書いていく。「ペン先の角度と方向を一定に、筆圧をコントロールすることが大切」とコツを教えてもらいながら何度も繰り返し練習。「難しい!」と言いながらも、書道で培った集中力を発揮して書き続ける学生たちに「息を止めず、呼吸しながらリラックスして書いてくださいね」と島野さん。ストロークに慣れた後はアルファベットにステップアップし、最終的に文字をつないで単語を書けるまでに。「みなさん、習得が早いです」と島野さんも驚くほどの成長を遂げた。

最後は約2時間の練習成果を披露するため、小さなカードに思い思いの言葉を清書してワークショップ終了!

「美しく仕上がっていますね。ぜひ何度も書いてみて、こっちの方が好きだなと文字の傾斜や筆圧の変化を工夫してみたり、自分らしい文字を表現してみてください。繰り返し書いて鍛錬した先に個性が広がっていくという点は書道と似ていると思います」と島野さん。学生たちも「書く感覚や集中の仕方が書道と似ていた」、「ペンの動かし方は筆とは違うけれど、手で書くという行為が好きなので楽しかった」と、書道とモダンカリグラフィーの違いや共通点を感じながら、文字を書くことの楽しさを再認識したようだ。



Finish

それぞれが好きなフレーズを書いてみました。

わたしの文字

恩師への感謝を綴る



書道部顧問・福井淳哉准教授の名前を書きました。私は4年生でもうすぐ卒業なので、感謝の気持ちを込めています。カリグラフィーは書道と集中の仕方が似ていると感じました。とても楽しく、またやってみたいと思います。

NAME
下山瑞希さん

経済学部経済学科4年
大門高等学校（富山）出身

わたしの文字

上手くなる方法は書道と同じ



練習を積み重ねていく感じが書道と似ていて集中しやすかったです。清書するときは緊張して手が震えてしまいましたが、注意深く書くことができたように思います。もう少し上達して年賀状などが書けるようになると良いですね。

NAME
石川鈴奈さん

文学部社会学科2年
桜美林高等学校（東京）出身

わたしの文字

筆とペンの違いを体感



やわらかな筆と違い、硬いニブや紙の抵抗に慣れなくて最初は手こずりましたが、一度コツを掴むとうまく書けるようになりました。カリグラフィーは初めて体験しましたが、筆とは違う味のある雰囲気で楽しかったです。

NAME
佐藤優妃さん

法学部法律学科2年
川口高等学校（埼玉）出身

わたしの文字

英字を書くことが新鮮!



自由に動かす筆と違って、ニブを一定の向きに動かすところが新鮮に感じました。普段は仮名や漢字を書いているので、英字をオシャレに書けることも楽しかったです。素敵なカードを書けるようになりました。

NAME
井口汐梨さん

文学部日本文化学科2年
武蔵丘高等学校（東京）出身

後編記集

人の好きなモノを聞くのが好きです。「誰かと比べたらにわかだけど……」と恐縮する人もたまにいますが、好きの形は人それぞれ。その人が「好き」と感じるポイントに人柄が現れるように思います。今号では学生のみなさんに「あなたの好きなモノは？」と問いかけてみたら想像以上におもしろいものが集まりました。学生のうちからそこまで！と驚くほどのコレクションを持ち出してくれた人も。好きなモノの話をするときの明るい顔も印象的でした。今号を読んだら、誰かと「いま、好きなモノは？」と話して、楽しい時間を過ごしてもらえたら嬉しいです。

Official Instagram

『Flair』の公式Instagramでは、本誌から一部抜粋して大学の情報を発信しています。また、取材や撮影の裏側などもお伝えします!

FLAIR_TEIKYO_UNIVERSITY

このネームタグをInstagramでスキャンすると、アカウントをフォローすることができます。

@flair_teikyo_university

Flair
vol.120
MARCH 2021
SPRING

制作　Mo-Green
発行　TEIKYO UNIVERSITY
cover photo: Kenji Nakata

News

公式HPに卒業生の活躍を紹介するコンテンツ「卒業生のイマ。」が誕生。

帝京大学での学びを活かし、さまざまな分野で活躍している卒業生たちは、イマ、どんな場所で、どんな仕事をして、何を考えているのでしょうか。「卒業生のイマ。」では、卒業生の仕事場に訪問させていただき、現在の仕事内容ややりがい、就職活動の楽しさやアプローチ方法についてお話を伺います。第1回は東京都消防庁に勤務する川名陽子さん、第2回はレオン自動機に勤務する大類彰浩さんの「イマ」を紹介。今後も随時更新されますので、ぜひご覧ください。

「卒業生のイマ。」は
こちらよりご覧いただけます。



News

放送大学と単位互換協定を締結。

2020年12月14日、帝京大学と放送大学は単位互換協定を締結。これにより、2021年度秋期から八王子キャンパスの経済・法・文・外国語・教育学部の全学生を対象として、放送大学の講義を履修することが可能となる。変化の激しい現代において、どのような状況においても講義の継続が可能となるように、本学の教員によるオンライン講義はもちろんのこと、放送大学の講義も取り入れることとした。放送大学の講義は、テレビ、ラジオ、インターネットを通して行う。本学学生の履修科目の選択肢が今まで以上に広がることで、より充実した学習機会の提供が可能となる。

Backnumber


Flair115
ドラマで学ぶ
医療のはなし。


Flair116
放課後、何してる?


Flair117
ワンチーム!


Flair118
"フレア"ってなに?


Flair119
これからのグッドライフ。

バックナンバーは大学HPよりご覧いただけます。

News

ハーバード特別講演会を開催。

2021年1月21日、帝京大学板橋キャンパスにて、帝京-ハーバードプログラムによるハーバード特別講演会を開催した。本学とハーバード大学（アメリカ）は1993年に学術提携を開始。2012年からは毎年ハーバード大学やオックスフォード大学（イギリス）の著名な教授陣を招聘し、グループワークを含めた講義を実施していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響でオンラインにて実施する運びとなった。特別講演会は、冲永佳史学長の開会挨拶から始まり、ハーバード大学からは、社会疫学の第一人者であるIchiro Kawachi氏、経時的データの分析手法に詳しいGarrett Fitzmaurice氏、環境産業保健学で多様な研究を行うRose Goldman氏、循環器疾患の疫学研究で著名なMurray Mittleman氏らがそれぞれ最新の研究事例に触れながら講演を行い、オックスフォード大学からも医療経済学を専門にするAlastair Gray氏がビデオメッセージによる講演を行った。講演会後には各国の学生らによるオンライン交流会が開かれ、新型コロナウイルス感染症について実行可能な改善策について議論。国内外からの参加登録は270名以上にのぼり、チャット機能を活用しながらの質疑応答など、新しいスタイルでの学術交流となった。







News

医学部附属病院の医療従事者へ向けた応援メッセージを拝受。


1


2



3


4

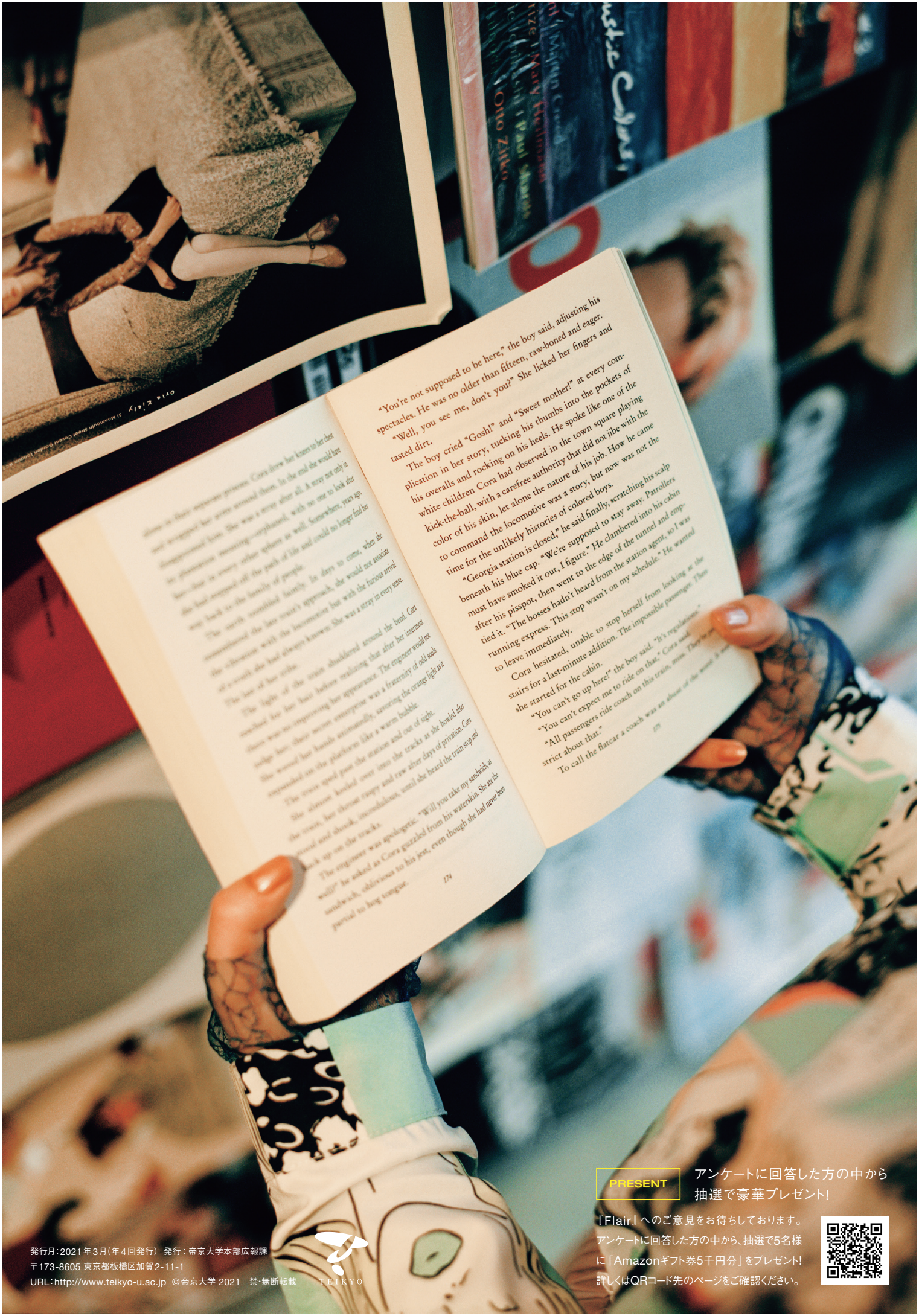
1. 校庭で温かく迎えてくれた王子第五小学校の皆さん 2. 王子第五小学校の代表者から応援メッセージを受け取る坂本病院長 3. 医学部附属病院屋上から見た加賀中学校の皆さんからのメッセージ 4. 医学部附属病院で行った記念撮影の様子

2020年11月26日、北区立王子第五小学校の児童より、新型コロナウイルス感染症の対応に奮闘する帝京大学医学部附属病院の医療従事者へ向けた応援メッセージを頂戴し、病院内に掲示した。

また、同年12月28日にも板橋区立加賀中学校の生徒より同病院の医療従事者へ向けた応援メッセージを頂戴した。同病院と加賀中学校は隣接しており、病棟から見ることのできる校舎の窓や校庭に書かれたメッセージは、厳しい状況下で日々の職務に臨む医療従事者にとって大きな励みとなった。

後日、坂本哲也病院長をはじめとする代表者らが王子第五小学校と加賀中学校へお礼の訪問に伺った際も、校庭でメッセージカードを掲げての激励や、あらためて医療従事者へ向けた感謝の言葉をいただくなど、心温まる歓迎を受けた。

学校法人帝京大学は、これからも地域社会との連携を深めるとともに教職員一丸となって地域貢献に努めていく。



PRESENT

アンケートに回答した方の中から
抽選で豪華プレゼント!

『Flair』へのご意見をお待ちしております。
アンケートに回答した方の中から、抽選で5名様に「Amazonギフト券5千円分」をプレゼント!
詳しくはQRコード先のページをご確認ください。

発行月:2021年3月(年4回発行) 発行:帝京大学本部広報課
〒173-8605 東京都板橋区加賀2-11-1
URL:http://www.teikyo-u.ac.jp ©帝京大学 2021 禁・無断転載

TEIKYO